

各施策の個別目標 第7期計画の達成状況および第8期計画への反映について

令和2年11月5日
令和2年度第3回介護保険運営協議会
審議事項（1）－1

達成状況	目標を数値化しているもの	目標を数値化していないもの
◎	達成率 80％以上	達成できた
○	達成率 60％～79％	概ね達成できた
△	達成率 30％～59％	達成はやや不十分
×	達成率 29％以下	全く達成できなかった

※令和元（2019）年度末時点の達成状況

◆基本目標1 自分に合った生活場所と介護サービスの充実

指標	7 期計画の個別目標	達成状況 (R1)	8 期計画 反映	理 由	8 期計画の個別目標		
					令和 3 (2021) 年度	令和 4 (2022) 年度	令和 5 (2023) 年度
基本施策 1－1 介護サービスの提供体制の整備							
特別養護老人ホームの新規整備状況	1 施設（100 床）整備に着手	◎	削除	R3 年度に 1 施設開設予定のため			
認知症グループホームの合計定員数	179 人（新規整備分：36 人）	△	継続	市内事業所全て満床であり、引き続き整備が必要のため、同数を設定	188 人（新規整備分：36 人）		
小規模多機能型居宅介護または看護小規模多機能型居宅介護の合計定員数	116 人（新規整備分：58 人）	△	継続	在宅ニーズが高いことから、引き続き整備が必要のため、29 人分を設定（公募による事業者の応募が少ないため、1 事業所（29 人分）とした）	116 人（新規整備分：29 人）		
定期巡回・随時対応型訪問介護看護の事業所数	1 事業所（新規整備分：1 事業所）	◎	削除	R3 年度に 1 事業所開設予定のため			
基本施策 1－2 高齢者の住まいの確保							
高齢者向け住まいの供給量	高齢者人口（65 歳以上）の 3%以上	○	継続	高齢者人口増加に伴い、介護サービス需要の受け皿となる多様な高齢者向け住まいの確保が継続して必要なため、同割合を設定	高齢者人口（65 歳以上）の 3%以上		
基本施策 1－3 介護サービスの質の確保							
指定事業所の実地指導実施事業所数（実地指導の実施率）	実地指導を定期的に実施	○	拡充	次なる目標として、具体的な数値目標を新たに加えて設定	16 事業所 （17.2%）	16 事業所 （16.6%）	17 事業所 （17.0%）
集団指導実施回数		○	継続	継続的に取り組む必要があることから、同数を設定	1 回	1 回	1 回
介護サービス相談員受入れ事業所数	介護サービス相談員の派遣を実施	○	拡充	次なる目標として、具体的な数値目標を新たに加えて設定	80 事業所	83 事業所	85 事業所
介護サービス相談員訪問回数（延べ）		○	拡充	同上	672 回	672 回	672 回
介護サービス相談員の派遣		○	拡充	同上	14 人	14 人	14 人
基本施策 1－4 介護給付の適正化							
重度変更率（千葉県とのかい離）	介護認定の適正化を実施	○	拡充	次なる目標として具体的な数値目標を新たに加えて設定	—	—	0.5 ポイント以内
居宅介護事業所の実地指導実施事業所数	10 事業所	◎	継続	継続的に取り組む必要があることから、同数を設定	10 事業所	10 事業所	10 事業所
ケアプラン点検件数	100 件	◎	拡充	さらなる向上を図るため、目標値を引き上げて設定	200 件	200 件	200 件
集団指導実施回数	—	—	新規	サービスの質の向上と給付の適正化を図るため、新たに目標を設定	1 回	1 回	1 回
医療費突合実施率	縦覧点検・医療情報との突合を実施	○	拡充	次なる目標として、具体的な数値目標を新たに加えて設定	70.0%	80.0%	90.0%
縦覧点検実施率		○	拡充	同上	70.0%	80.0%	90.0%
介護給付費の通知件数	25,044 件	◎	継続	継続的に取り組む必要があることから、数値目標を今後も設定	23,003 件	24,073 件	25,191 件

◆基本目標 2 安定した日常生活のサポート

指標	7 期計画の個別目標	達成状況 (R1)	8 期計画 反映	理 由	8 期計画の個別目標		
					令和 3 (2021) 年度	令和 4 (2022) 年度	令和 5 (2023) 年度
基本施策 2－1 高齢者相談センター（地域包括支援センター）の運営							
地域ケア会議（圏域・個別）の開催数	—	—	新規	自立支援・介護予防支援をさらに推進していくため、新たに目標を設定	20 回	20 回	20 回
第三者評価の実施	H31 全圏域で実施	◎	削除	目標達成のため、削除			
機関紙の発行など情報発信	全圏域で実施	◎	削除	目標達成のため、削除			
基本施策 2－2 介護予防・日常生活支援総合事業（介護予防・生活支援サービス事業）							
多様な主体によるサービスの担い手を養成する研修受講修了者と事業所とのマッチング	—	—	新規	十分な量・質の多様なサービスの提供体制を整備するため、新たに目標を設定	2 回	2 回	2 回
生活援助訪問型サービスの提供	—	—	新規	継続的にサービスを提供する必要があるため、新たに目標を設定	調整中		
住民主体による訪問型サービスの提供	—	—	新規	継続的にサービスを提供する必要があるため、新たに目標を設定	調整中		
住民主体による訪問型サービスを提供する団体数	5 団体	△	縮小	目標値を高く設定していたため、引き下げて設定	1 団体	2 団体	3 団体
運動機能向上ミニデイ型サービス、介護予防ミニデイ型サービスの提供	—	—	新規	継続的にサービスを提供する必要があるため、新たに目標を設定	調整中		
住民主体による通所型サービスの提供	—	—	新規	継続的にサービスを提供する必要があるため、新たに目標を設定	調整中		
住民主体による通所型サービスを提供する団体数	7 団体	△	縮小	目標値を高く設定していたため、引き下げて設定	1 団体	3 団体	5 団体
通所型短期集中予防サービスの提供	—	—	新規	継続的にサービスを提供する必要があるため、新たに目標を設定	調整中		
基本施策 2－3 医療と介護の連携体制の構築							
医療介護連携の総合相談窓口の設置	設 置	◎	削除	目標達成のため			
医療・介護関係者の研修の実施	実 施	◎	削除	目標達成のため			
地域住民への普及啓発の実施	実 施	◎	削除	目標達成のため			
高齢者等実態調査で、高齢者相談センターが果たしている役割を「多職種連携マネジメント」と回答した事業者の割合	—	—	新規	医療・介護連携の総合窓口として高齢者相談センターが機能しているか把握する必要があるため、新たに目標を設定	—	25.0%	—
基本施策 2－4 認知症施策の推進							
認知症サポーター養成講座受講者数	500 人	◎	継続	継続的に取り組む必要があるため、同数を設定	500 人	500 人	500 人
認知症サポーター養成講座実施教育機関数	—	—	新規	若年層への普及として取り組む必要があるため、新たに目標を設定	増加 （前年度比）	増加 （前年度比）	増加 （前年度比）
認知症初期集中支援チームの稼働数	認知症初期集中支援チームによる介入・対応件数 20 件	◎	拡充	事例がないと、介入・対応できないことから目標設定を見直した	2 チーム	2 チーム	2 チーム
基本施策 2－5 高齢者の見守り							
習志野市 SOS ネットワークにより 発見できない行方不明高齢者の数	0 人	◎	継続	継続的に取り組む必要があるため、同数を設定	0 人	0 人	0 人
基本施策 2－6 高齢者の権利擁護							
消費者被害相談事例などの関係機関への情報提供の頻度	—	—	新規	消費者トラブルなどの未然防止につなげるため、新たに目標を設定	3 か月ごと	3 か月ごと	3 か月ごと

指標	7 期計画の個別目標	達成状況 (R1)	8 期計画 反映	理 由	8 期計画の個別目標		
					令和 3 (2021) 年度	令和 4 (2022) 年度	令和 5 (2023) 年度
成年後見制度のまちづくり出前講座の実施回数	—	—	新規	継続的に制度の周知を図る必要があるため、新たに目標を設定	5 回	6 回	7 回
成年後見センターによる法人後見の新規受任件数	5 件	△	継続	継続的に取り組む必要があるため、同数を設定	—	—	5 件

◆基本目標 3 いつまでも元気に暮らせる健康づくり

指標	7 期計画の個別目標	達成状況 (R1)	8 期計画 反映	理 由	8 期計画の個別目標		
					令和 3 (2021) 年度	令和 4 (2022) 年度	令和 5 (2023) 年度
基本施策 3－1 成人期から取り組む健康づくり							
小・中学校での健康教育実施数	—	—	新規	継続的に家族単位の生活習慣病予防を推進するため、新たに目標を設定	18 校	20 校	23 校
特定健康診査受診率	37.0%	◎	拡充	さらなる向上を図るため、目標値を引き上げて設定	38.0%	39.0%	40.0%
高齢者等実態調査で、定期的に歯科受診（健診含む）をしていると回答した人の割合（一般高齢者）	—	—	新規	歯と口腔の健康は全身の健康状態につながり、成人期から高齢期を通じた歯科健康診査の強化・充実を図る必要があるため、新たに目標を設定	—	65.0%	—
高齢者等実態調査で、定期的に歯科受診（健診含む）をしていると回答した人の割合（在宅要支援認定者など）	—	—	新規	歯と口腔の健康は全身の健康状態につながり、成人期から高齢期を通じた歯科健康診査の強化・充実を図る必要があるため、新たに目標を設定	—	50.0%	—
高齢者等実態調査で、1年以内にがん検診を受けていると回答した人の割合（一般若年者）	R1 50.0%	◎	縮小	高齢者等実態調査結果の実績値を現状維持するため、目標値を引き下げて設定	—	47.0%	—
高齢者等実態調査で、1年以内にがん検診を受けていると回答した人の割合（一般高齢者）	R1 50.0%	◎	縮小	高齢者等実態調査結果の実績値を現状維持するため、目標値を引き下げて設定	—	45.0%	—
後期健康診査受診率	—	—	新規	千葉県後期高齢者医療広域連合データヘルス計画値に基づき、新たに目標を設定	39.8%	40.8%	41.8%
基本施策 3－2 介護予防・日常生活支援総合事業（一般介護予防事業）							
地域運動習慣自主化事業 立ち上げ支援団体数	—	—	新規	継続的に身近な地域で運動習慣の自主化に向けた取り組みを行う必要があるため、新たに目標を設定	4 団体	4 団体	4 団体
介護予防教室参加者の合計数	350 人	◎	縮小	新しい生活様式に沿った開催方法の見直しが必要なため、目標値を引き下げて設定	150 人	150 人	150 人
介護予防教室参加者のうち、地域の通いの場につながった人の数	50 人	◎	縮小	新しい生活様式に沿った開催方法の見直しが必要なため、目標値を引き下げて変更	20 人	20 人	20 人
介護予防教室参加者のうち、運動習慣化の意識を持っている人の割合	80%	◎	継続	継続的に取り組む必要があるため、同割合を設定	80.0%	80.0%	80.0%
介護予防教室参加者のうち、生活機能が維持・向上している人の割合	80%	◎	継続	継続的に取り組む必要があるため、同割合を設定	80.0%	80.0%	80.0%

◆基本目標 4 地域で支え合う仕組みの拡大

指標	7 期計画の個別目標	達成状況 (R1)	8 期計画 反映	理 由	8 期計画の個別目標		
					令和 3 (2021) 年度	令和 4 (2022) 年度	令和 5 (2023) 年度
基本施策 4－1 高齢者を地域で支える仕組みの拡大							
住民主体による通所型サービスを提供する団体数	7 団体	△	縮小	目標値を高く設定していたため、目標値を引き下げて設定	1 団体	3 団体	5 団体
住民主体による訪問型サービスを提供する団体数	5 団体	△	縮小	目標値を高く設定していたため、目標値を引き下げて設定	1 団体	2 団体	3 団体
住民主体による一般介護予防（サロンなど）を提供する団体数	—	—	新規	地域住民が主体となる通いの場の創出により、お互いの見守りができる仕組みづくりを行う必要があるため、新たに目標を設定	10 団体	11 団体	12 団体
地域ケア推進会議の開催数	—	—	新規	自立支援・介護予防支援をさらに推進していくため、新たに目標を設定	2 回	2 回	2 回
地域ケア会議（圏域・個別）の開催数	—	—	新規	自立支援・介護予防支援をさらに推進していくため、新たに目標を設定	20 回	20 回	20 回
地域ケア個別会議のうち、「介護予防・自立支援検討会議」の開催数	—	—	新規	自立支援・介護予防支援をさらに推進していくため、新たに目標を設定	5 回	5 回	5 回
地域ケア個別会議のうち、「介護予防・自立支援検討会議」における各圏域のケアマネジャーの参加率	—	—	新規	自立支援・介護予防支援をさらに推進していくため、新たに目標を設定	60.0%	60.0%	60.0%
市認定ヘルパー養成講座の修了者のうち、習志野市ボランティア・市民活動センターへ登録または緩和した基準によるサービス事業所へ登録する人の割合	100%	◎	継続	継続的に取り組む必要があるため、同割合を設定	100%	100%	100%
市認定ヘルパー養成講座の修了者のうち、ボランティアまたは緩和した基準によるサービス事業所など多様なサービスの提供に携わる人の割合	—	—	新規	生活支援などのサービス体制を構築するため、新たに目標を設定	30.0%	35.0%	40.0%
市民後見人養成講座受講者のうち、習志野市成年後見センターへ登録する人の数	成年後見センターへ登録する人の割合 100%	△	縮小	体制整備の検討が必要のため、目標の見直しを行い設定	—	—	20 人
認知症サポーター養成講座受講者数	500 人	◎	継続	継続的に取り組む必要があるため、同数を設定	500 人	500 人	500 人
認知症サポーター養成講座実施教育機関数	—	—	新規	若年層への普及として取り組む必要があるため、新たに目標を設定	増加 （前年度比）	増加 （前年度比）	増加 （前年度比）
高齢者見守り事業者ネットワーク協定締結事業者数	50 事業者	◎	継続	継続的に取り組む必要があるため、同数を設定	50 事業者		
地域介護予防活動の延べ人数の合計数	—	—	新規	健康寿命の延伸に向けて取り組む必要があるため、新たに目標を設定	33,947 人	33,947 人	33,947 人
高齢者等実態調査で、通いの場へ参加していると回答した人の割合	—	—	新規	健康寿命の延伸に向けて取り組む必要があるため、新たに目標を設定	—	8.0%	—
ふれあい・いきいきサロン（地域サロン）設置数	—	—	新規	継続的に住民同士の交流や閉じこもり予防など、孤立化防止に向けて取り組む必要があるため、新たに目標を設定	54 か所	59 か所	64 か所
基本施策 4－2 高齢者の社会参加の促進							
シルバー人材センター会員登録数	1,100 人	◎	継続	継続的に取り組む必要があるため、同数を設定	—	—	1,100 人
あじさいクラブ活動事業 1 単位クラブあたりの会員数	—	—	新規	高齢者が地域で元気に活動することで地域の活性化につながるため、新たに目標を設定	2 人増 （前年度比）	2 人増 （前年度比）	2 人増 （前年度比）
あじさいクラブ活動事業 各種大会参加者数	—	—	新規	高齢者が地域で元気に活動することで地域の活性化につながるため、新たに目標を設定	増または現状維持 （前年度比）	増または現状維持 （前年度比）	増または現状維持 （前年度比）

指標		7 期計画の個別目標	達成状況 (R1)	8 期計画 反映	理 由	8 期計画の個別目標		
						令和 3 (2021) 年度	令和 4 (2022) 年度	令和 5 (2023) 年度
	高齢者ふれあい元気事業実施率	83.0%	◎	拡充	毎年度増加または現状維持を目指す必要があるため、目標値を引き上げて設定	1.0%増 (前年度比)	1.0%増 (前年度比)	1.0%増 (前年度比)
	寿学級 延べ参加者数	6,000 人	○	継続	継続的に取り組む必要があるため、同数を設定	約 6,000 人の維持	約 6,000 人の維持	約 6,000 人の維持
	市民カレッジの 60 歳以上の受講生数	60 人	◎	拡充	さらなる向上を図るため、目標値を引き上げて設定	70 人	70 人	70 人
	総合型地域スポーツクラブ(3 クラブ)の 60 歳以上の会員数	466 人	◎	縮小	新型コロナウイルス感染症の影響による見直しが必要なため、目標値を引き下げて設定	400 人	400 人	400 人
	スポーツ奨励大会(歩け歩け大会)の 60 歳以上の参加者数	155 人	△	縮小	新型コロナウイルス感染症の影響による見直しが必要なため、目標値を引き下げて設定	150 人	150 人	150 人
	公共交通機関におけるノンステップバス 導入率	70%	◎	削除	目標達成のため			

＜第 8 期計画への反映状況（まとめ）＞

- 「継 続」 → 1 5 指標
- 「拡 充」 → 1 2 指標
- 「縮 小」 → 9 指標
- 「削 除」 → 8 指標
- 「新 規」 → 2 7 指標